

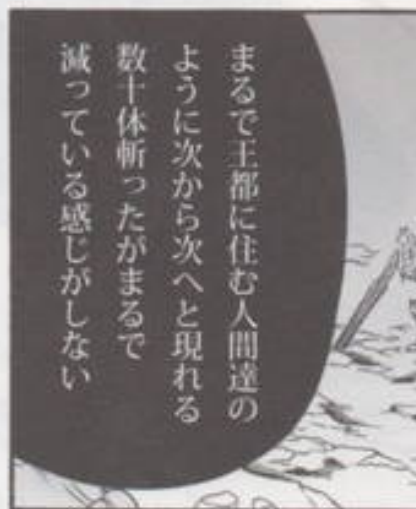
YOKOHAMA JUNKY

ADULT ONLY

ソロハンターの生態 4

THE SECOND PART

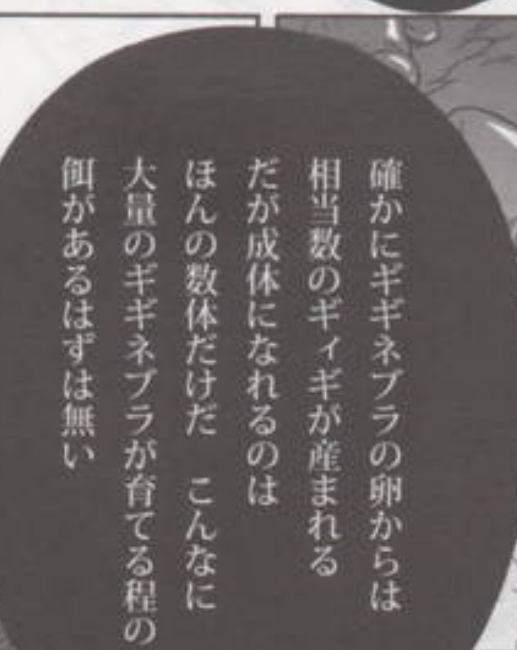




まるで王都に住む人間達のように次から次へと現れる数十体斬ったがまるで減っている感じがしない

ギルドの資料には十体程度の個体が群れをなして生息していると記されていたが

さすがに数が多過ぎるまさかここまで繁殖しているとは……



この洞窟といい

明らかに異常だこれだけの成体が同一の場所に存在出来るわけが無い

確かにギギネブラの卵からは相当数のギイギが産まれるだが成体になれるのはほんの数体だけだ こんなに大量のギギネブラが育てる程の餌があるはずは無い

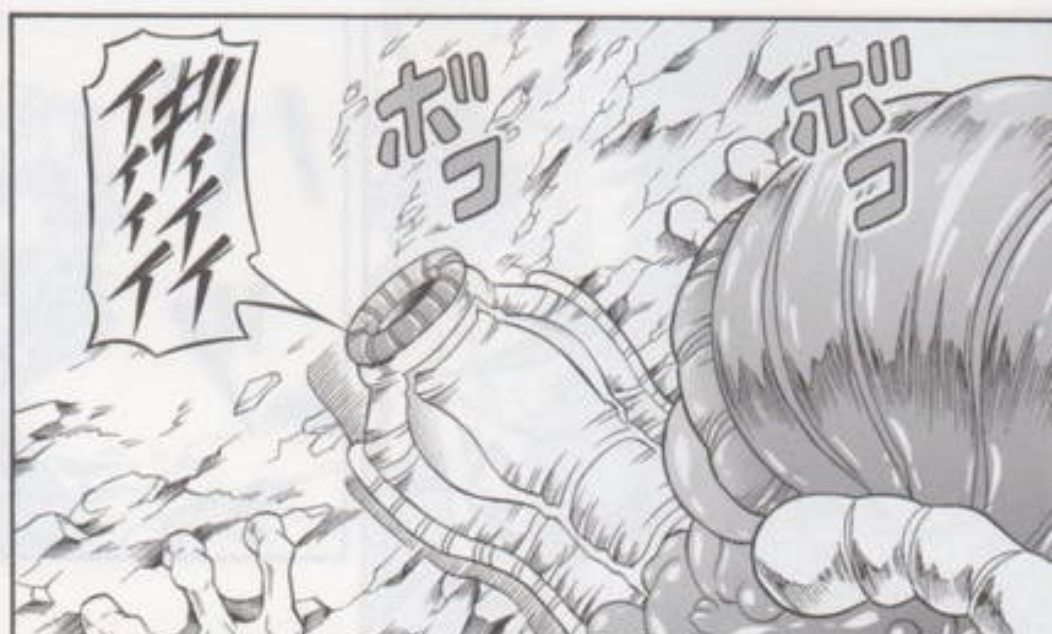


いったい
どうなってるんだ？

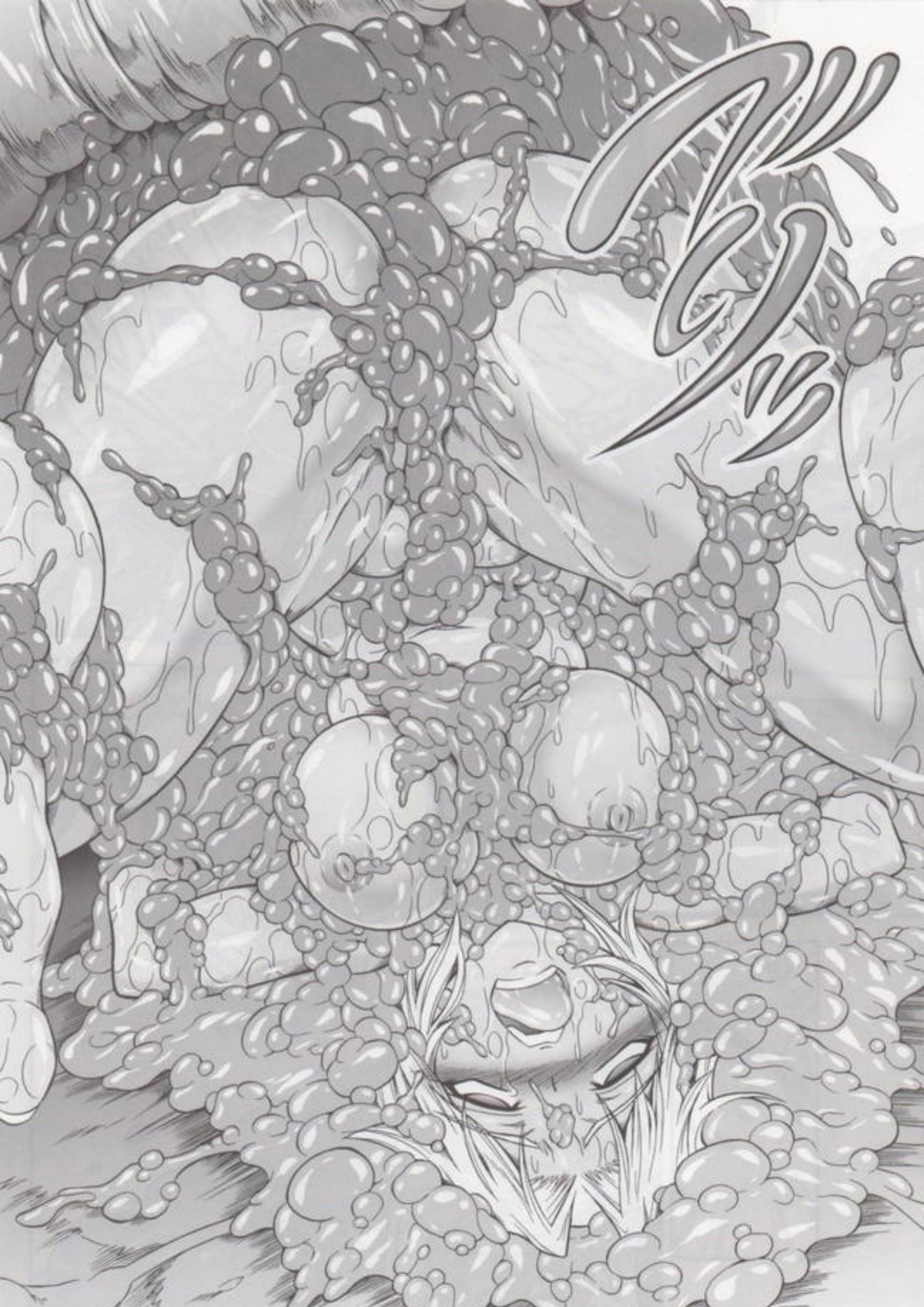


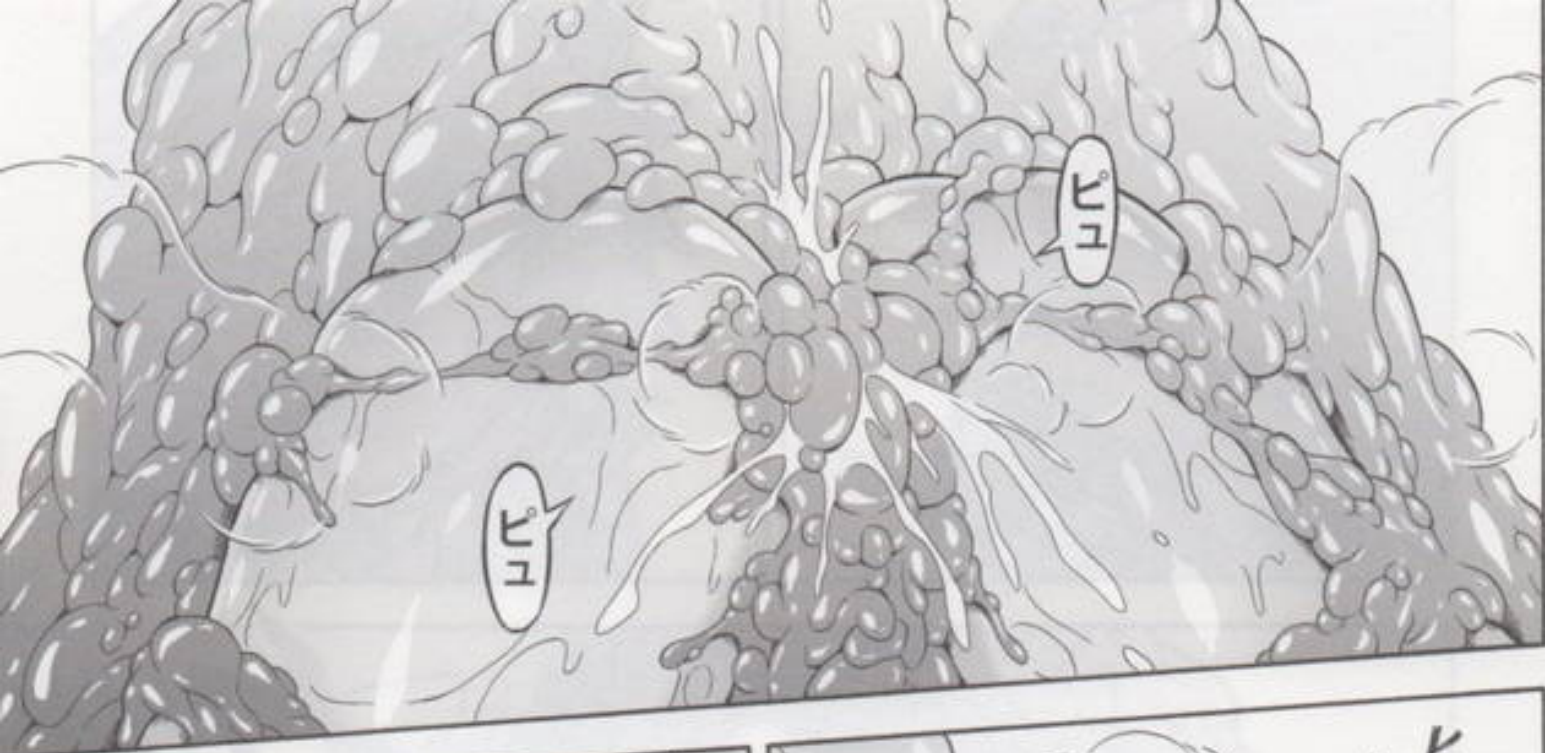
ベキ















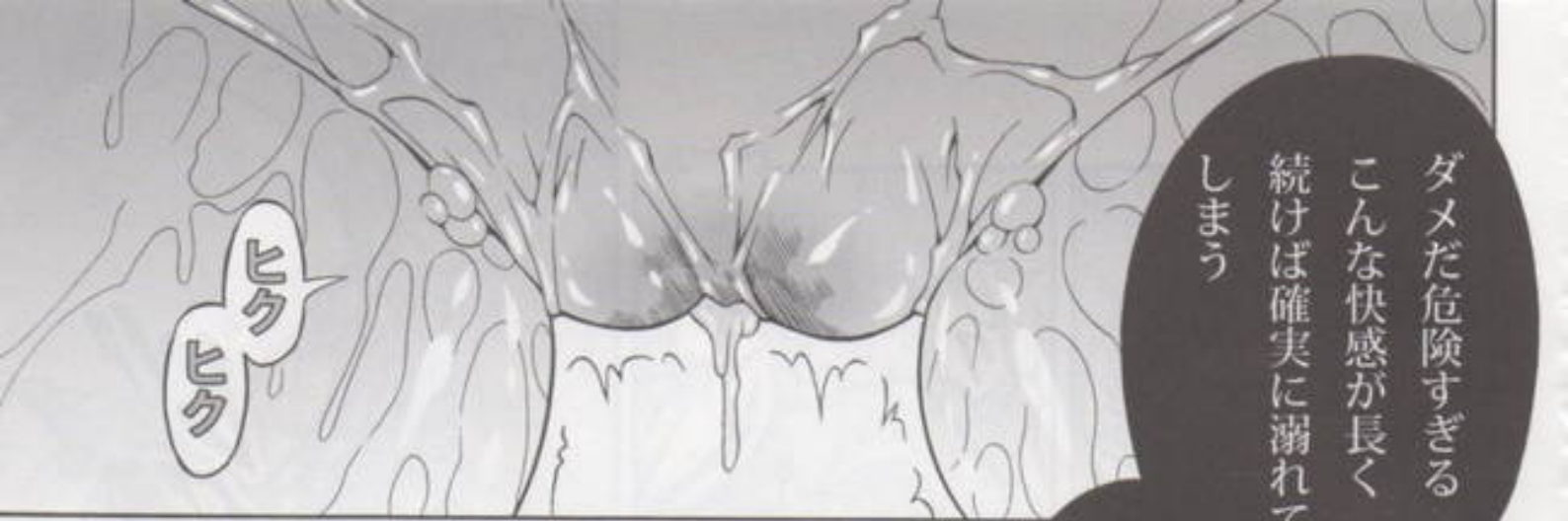


クソッ 視界が悪い
奴はどこに


これを吸い込んだら
終わりだ







ダメだ危険すぎる
こんな快感が長く
続けば確実に溺れて
しまう

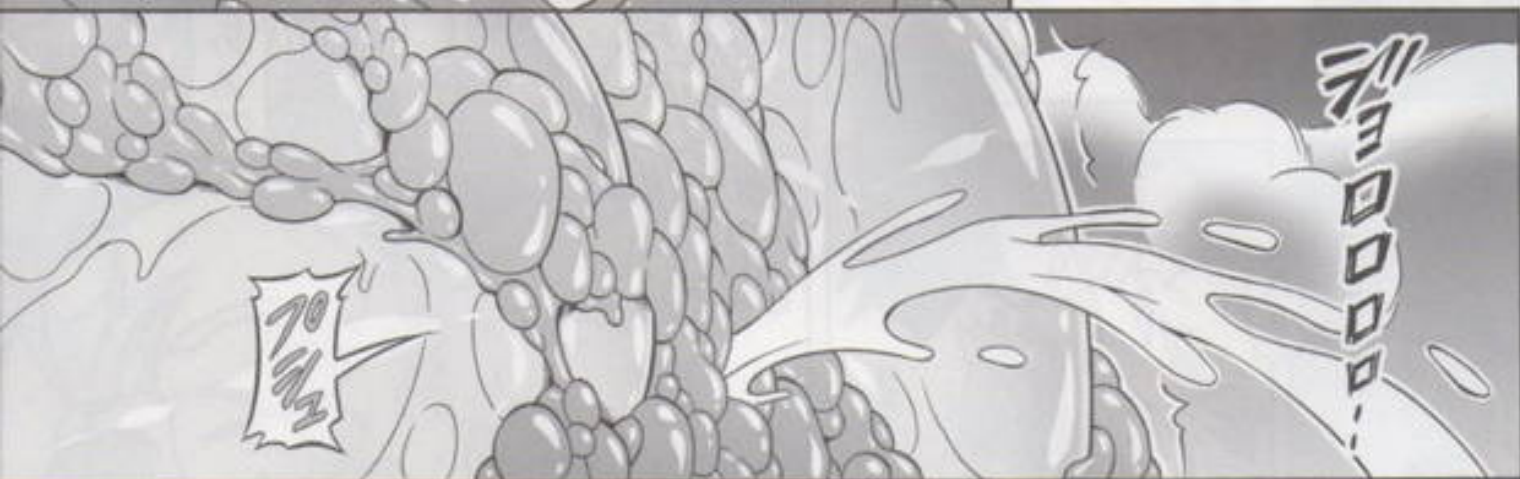


そんな事になれば
彼女のように……



あ……へ……

あ……あ……





この快樂を…



ああ……ダメだ
イク……イク……

フリル

フリル

フリル



キュ♡

キュ♡

浴びせられた小水から
立ち上る牝のフェロモンが
鼻腔を抜けて脳を蕩かす



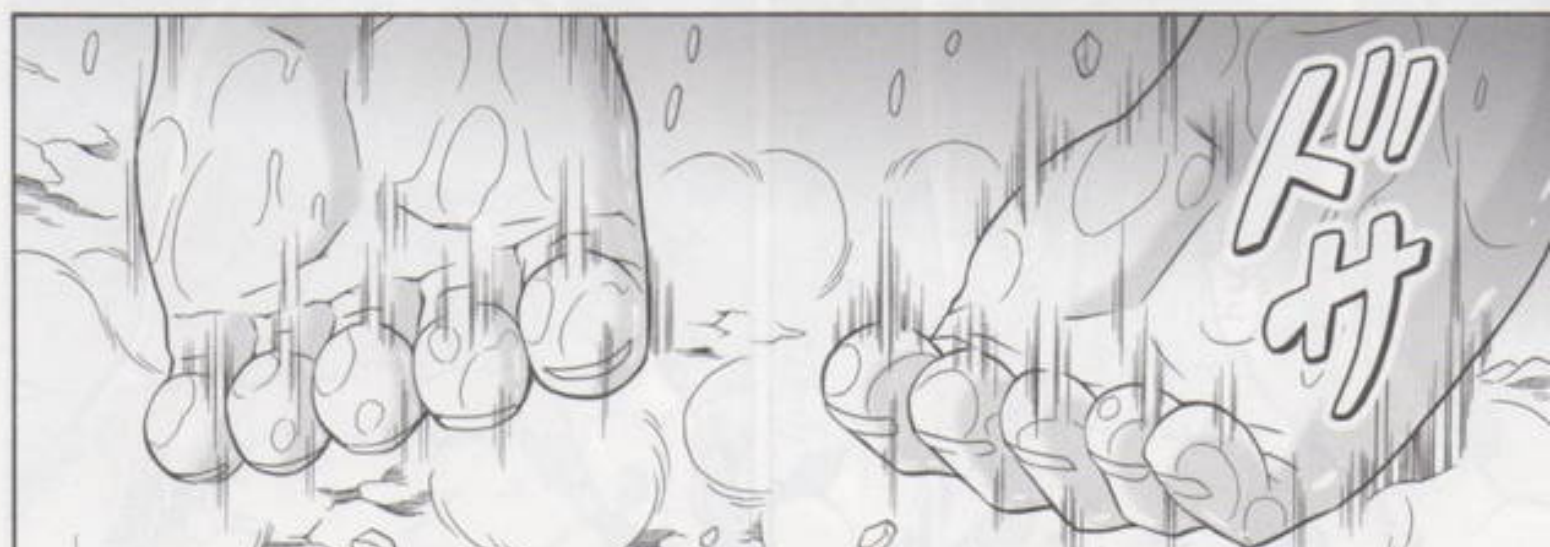
意志とは裏腹に

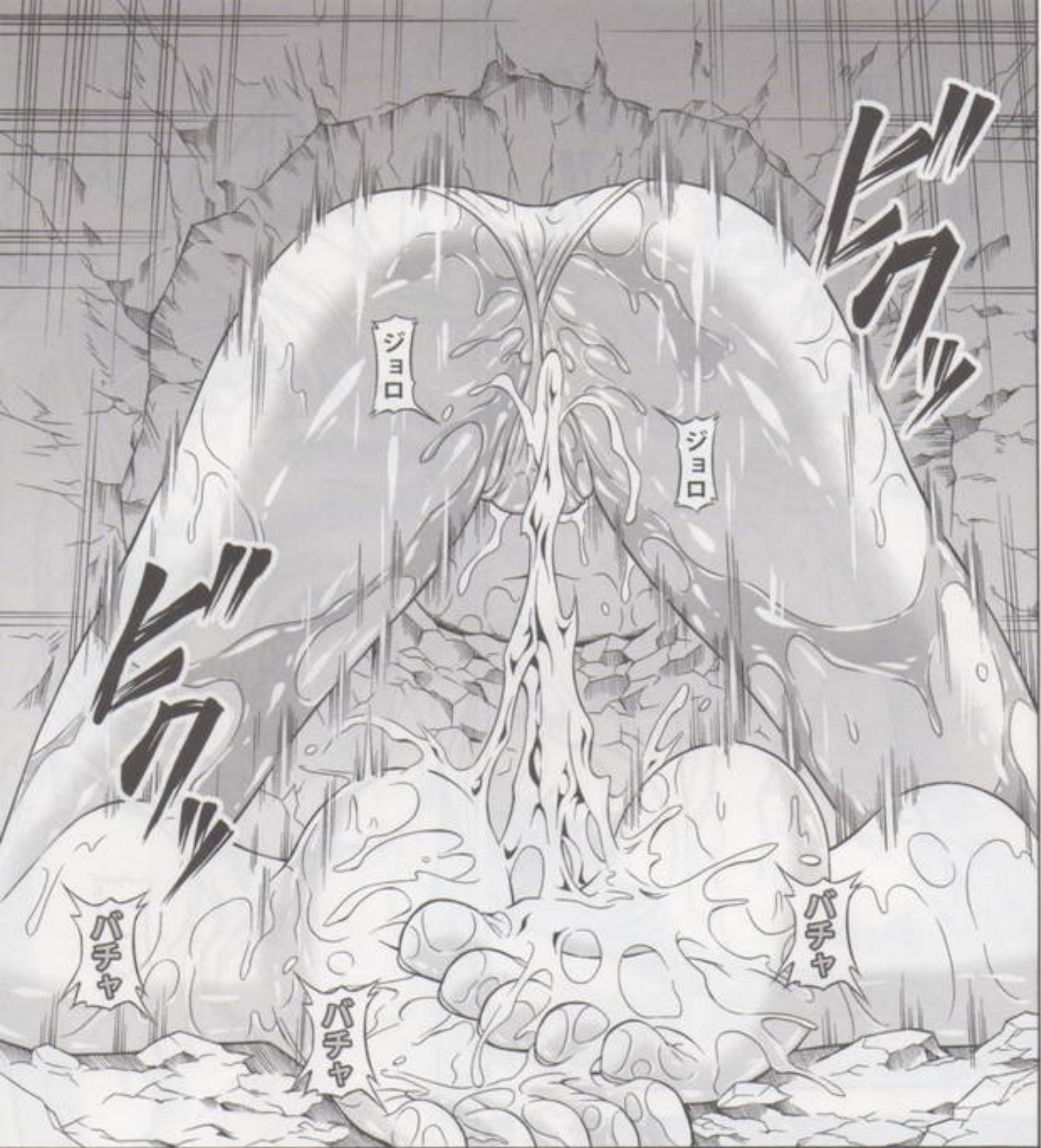
体は官能に震え 勝手に
昇りつめていってしまう

ヒク
ヒク













握り潰されそうな
強烈な締めつけに
肉体が悲鳴を上げる



私の脳はその苦痛全てを
快感として受け取って
しまっ

呼吸すらままなら
ない危険な状況……
それなのに



私の精神は
官能の悦び一色に
染め上げられていく

締めつけが強まれば
強まるほど 肉体が
危険になればなるほど



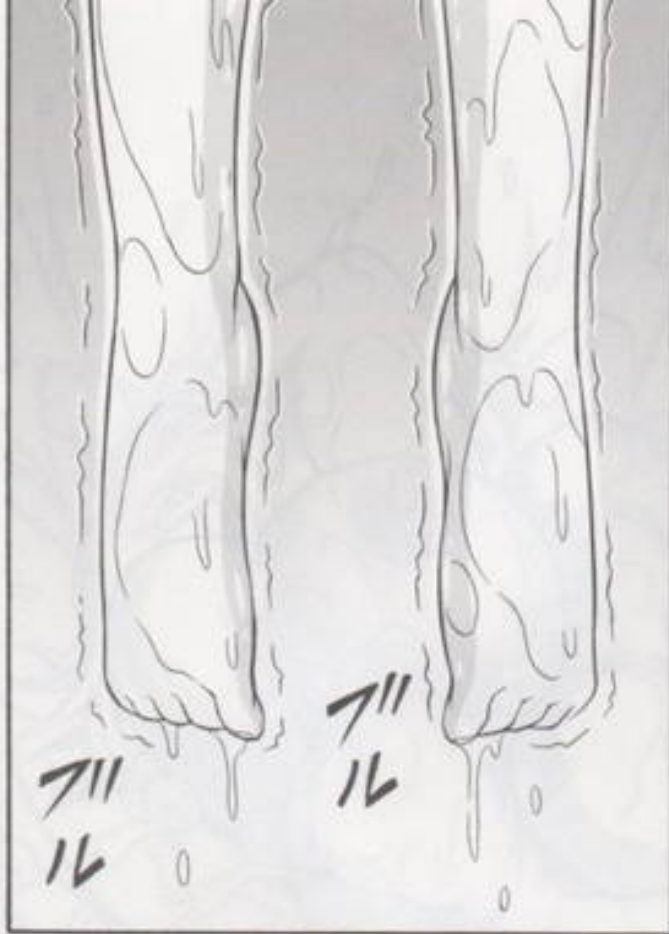
おほおほ
おほおほ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

ガッ
ガッ







ああ……
ダメだ……

こんな快感に
抗えるわけが無い



ドサ



この悦楽に浸れるのなら
体を破壊し尽くされても
構わない

このまま玩具のように
いたふられて壊されたら
どんなに……

どんなに……

ゴク

ゴク

ゴク

ジョロ

ジョロ

ヘッ

ヘッ

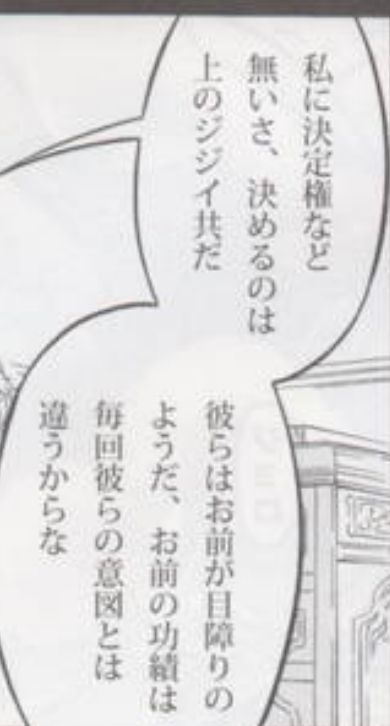
ヘッ

え……えへえ……

私……

私……は……

これを私に？





別に
構わないさ

……これは忠告でも
あるんだが
今回はあくまでも調査、
生態の解明とサンプルの
回収が目的だ

ギルドもあまり多くの
情報を持ち合わせていない
万が一が無いとも
限らないからな



まあ……
期待してるよ
G級ハンター殿



万が一が無いから
私はこちらに居る
そうだろうか?



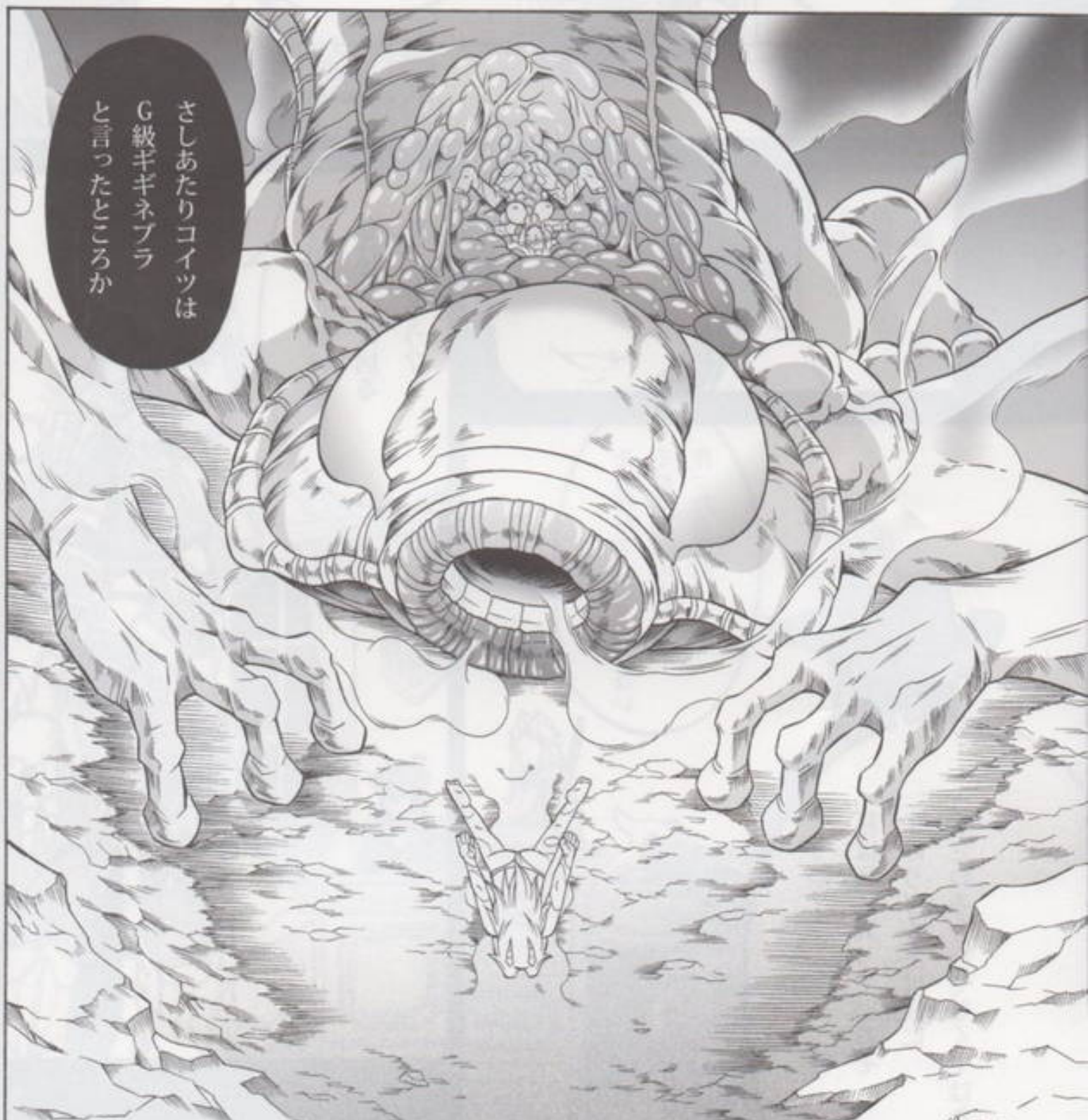
その呼び名は好きじゃない
それは下賤の者共が
作った言葉だ

そうか?
私は気に入っているぞ
やはりギルドは民に
愛される存在でなくてはな

尊敬と畏怖の
言葉として受け取れば
いいではないか

強い者の証だぞ
『G級』とは

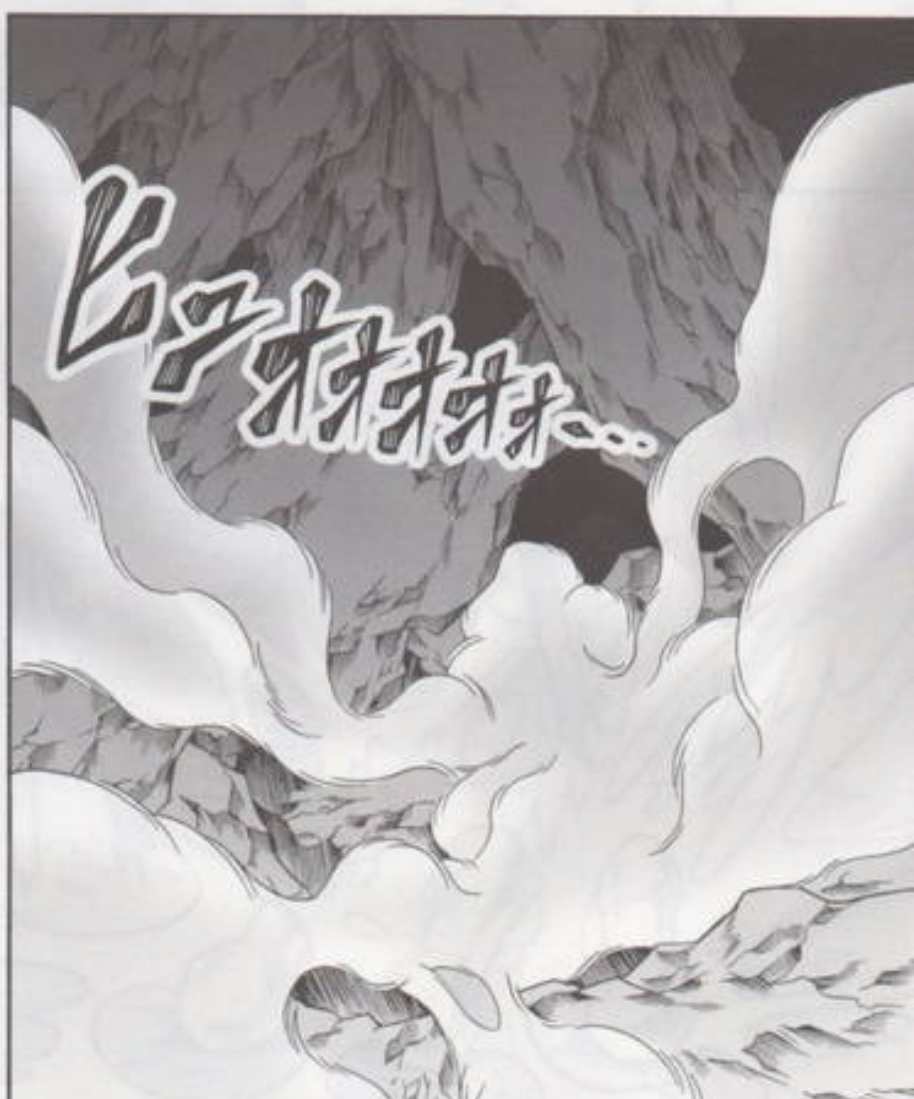
さしあたりコイツは
G級ギギネブラ
と言ったところか







ここまで来れば
簡単に追いつかれたりは
しないだろう







外れた肩をはめただけで
イッてしまった
私の肉体はもう全ての
刺激を快感として受け取って
しまう

この官能を何とかしないと…
シビレ罨はもう無い
この状態でモンスターと遭遇
したら今度こそ終わりだ



通常の解毒薬が
効くかは分からないが
今はこれにすぎるしか



良かった
割れてない







ギギネブラ亜種!?



まずい……早……
早く……解毒を……



亜種まで生息して
いるのか それじゃあ
この衝撃は電撃……

何て甘い快感なんだ
絶頂感が優しく
持続して全身を包む





おぼおお

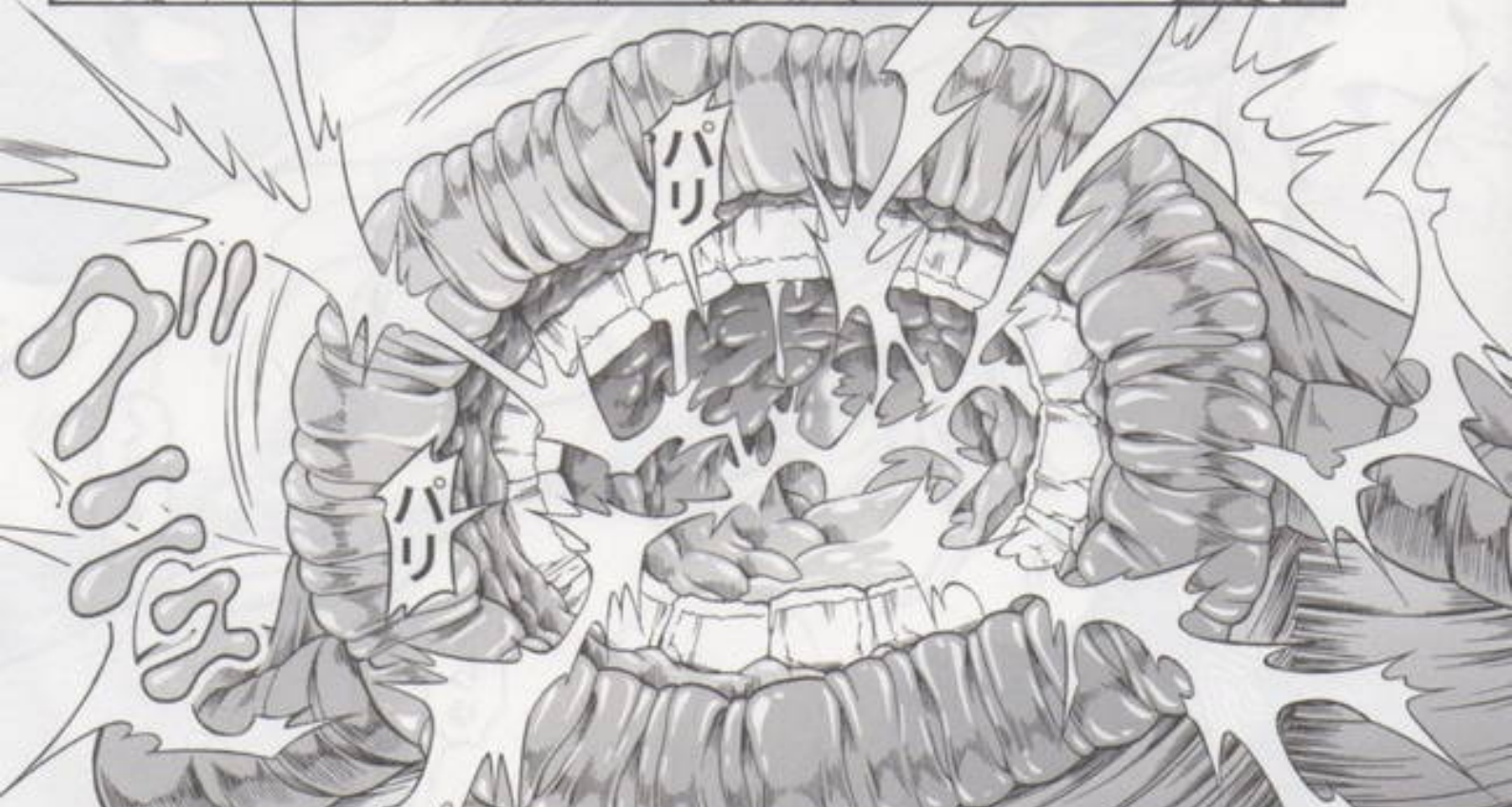
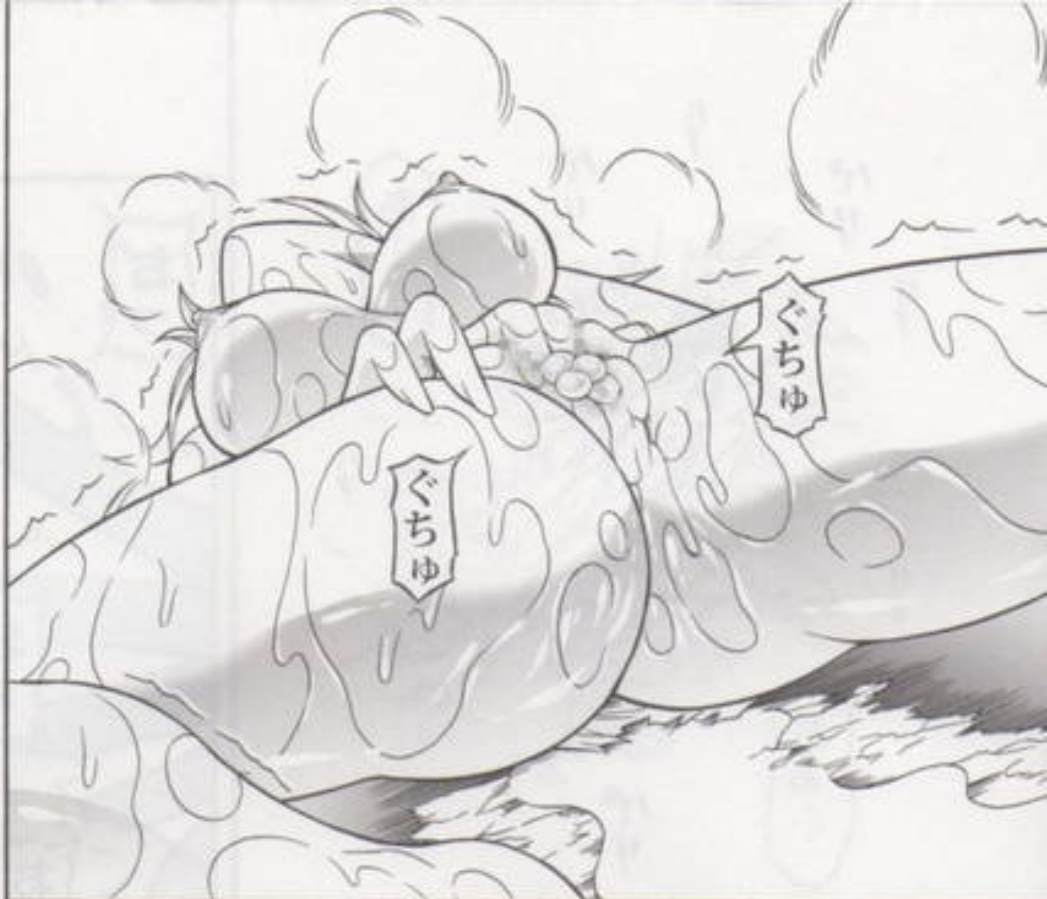
ほおおお

ブシュ

んおおお









あの中で電撃に全身を痛め
つけられながら…ゆっくりと
消化されていくんだ

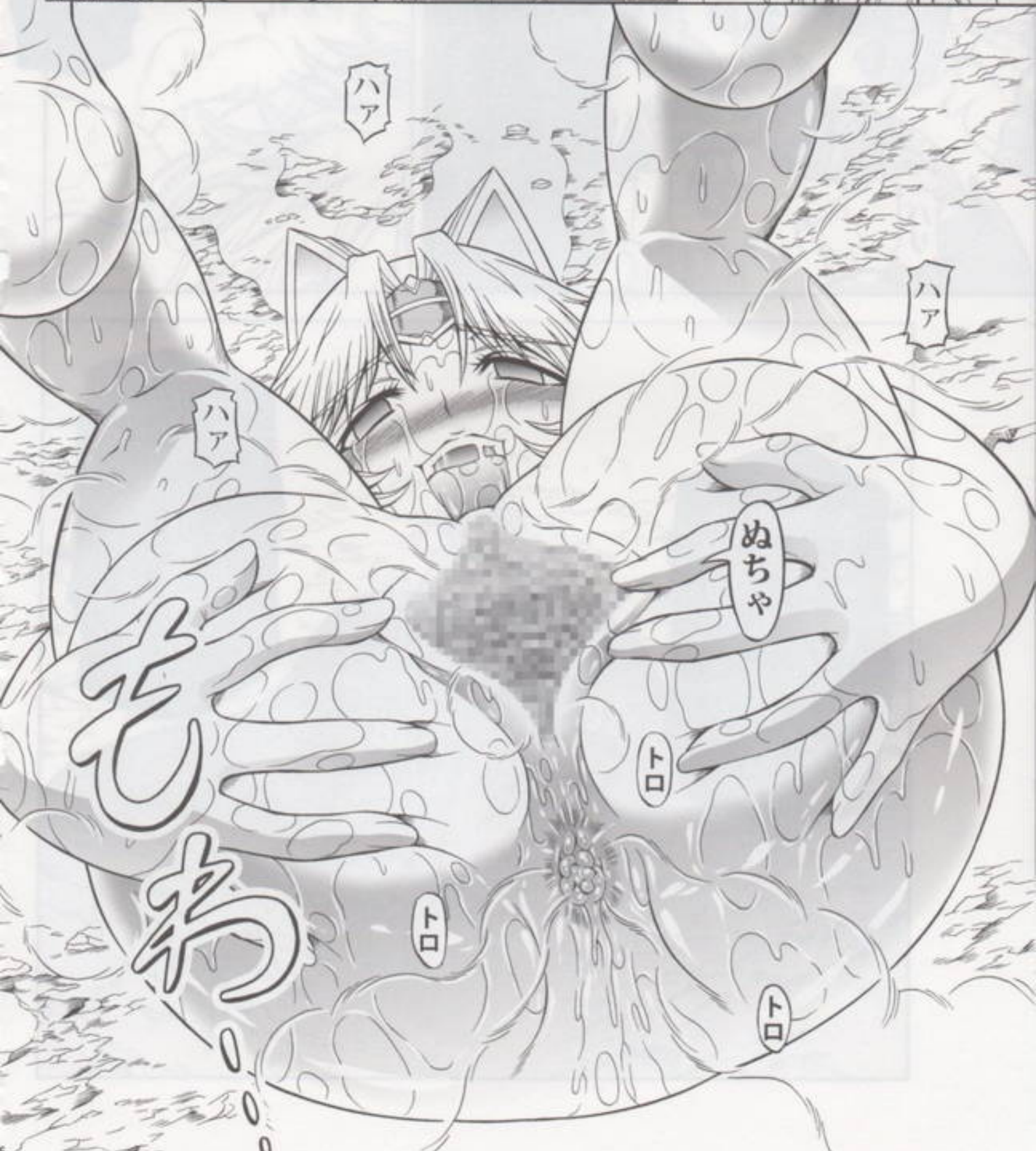


私を……
食う気……だ……



人外の快楽に悦びの悲鳴を
上げて……肉体を破壊されて
……死んでいくんだ……

快楽に蕩けた顔を晒して
糞尿をたれ流しながら
無様に消化されて私の
人生は終わる……





早く……

早く……
破壊して……

パリ

ハア

ハア

ハア

パリ

私の体を……
メチャクチャに……



もう……どうなっ
てもいい……

か木

ほお



平

平

おぎやあ
ああああ



おお
おお

んぐええ
ええ



ピクピク

ピクピク

ごおおお



ほごおお
おおお

うおお
おお

ピクピク

ピクピク



イギ死ぬ
ググググ

イギ



あ
あ
あ

